

「2015年12月15日

二人の息子達へ

有田光雄

闘病すでに六年目の暮れを迎える。ママの今後について意見を述べて賛意を得たい。

1、ママはよくたたかってきた。だが、現状は残念ながら

①自力での飲食、自力での排泄が不可能になってきている。

②毎晩のように滝のような発汗。

③両手足の拘縮。

④喀痰の自力排出ができない。

⑤笑顔の消失。

など、如何ともしがたいものがある。

2、人間誰にも終焉がある。ただ、少し長いか、少し短いかの違いがあるだけだ。

3、従って、これ以上の延命措置は行わないで自然に委ねたい。
4、もしも、いま、口がきけたら、ママも
「長いあいだありがとう。満足しています。これ以上の負担はかけないで自然に任せて頂戴」。
と言うに違いない。

5、どうか、66年間連れ添ってきた夫たるわたしの断腸の決断を理解して欲しい。

以上」

